

座長

**山本 善裕** 先生 (富山大学 感染予防医学講座/感染症科)

演題

**「無視できない非結核性抗酸菌症」**

演者

**長谷川 直樹** 先生 (慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

日時

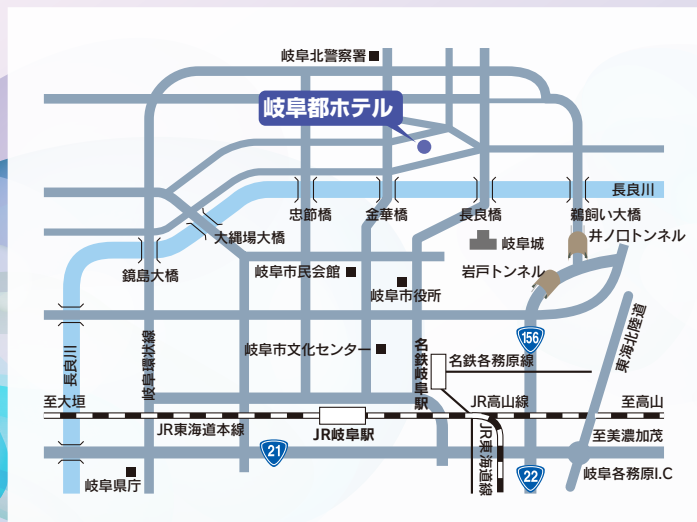
2018年 2月10日(土) 12:10 ~ 13:10

会場

**第4会場** (岐阜都ホテル 2階 漣A)  
〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2



本学会付設展示会にて  
弊社製品を展示しております。  
是非お立ち寄りください。



本ランチョンセミナーは整理券を配布いたします。  
配布場所:長良川国際会議場 1F ホワイエ  
配布日時:2018年2月10日(土) 8:00~11:30  
※整理券は一人様1日1枚限り、先着順のうえ、無くなり次第終了となります。  
※整理券の有効期限は【セミナー開始5分後】とさせていただきます。

共催：第29回日本臨床微生物学会総会・学術集会 / 東ソー株式会社



**東ソー株式会社**  
バイオサイエンス事業部

本社 / 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル  
TEL 03-5427-5181 FAX 03-5427-5220

大阪支店 ☎ (06) 6209-1948 名古屋支店 ☎ (052) 211-5730  
福岡支店 ☎ (092) 781-0481 仙台支店 ☎ (022) 266-2341

<http://www.diagnostics.jp.tosohbioscience.com/>

**座長** 山本 善裕 先生(富山大学 感染予防医学講座/感染症科)

**演題** 「無視できない非結核性抗酸菌症」

**演者** 長谷川 直樹 先生(慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

非結核性抗酸菌(NTM)は結核菌と起源を同じくするが、その性質は大きく異なる。NTMは水系、土壌あるいは動物に生息する環境菌であり、本来弱毒菌であるが、様々な環境で生存が可能である。現在約170菌種が知られているが、人に感染症を惹起する主要菌種は約20種程度である。主に呼吸器に病変を起こすが、リンパ節、皮膚・軟部組織など全身に病変を形成することが知られている。感染者の10～15%が発症することが疫学的に判明している結核と異なり、NTMについては感染と発病の関連性は未だ不明である。一方、近年、臨床現場では免疫学的な異常を認めない、特に中高年のやせ型女性に好発する肺NTM症の増加が実感されていた。2014年に液体培地の普及を念頭にして簡素化された診断基準(日本呼吸器学会と日本結核病学会より 2008年)を用いたアンケート方式による全国疫学調査が実施され、肺NTM症の罹患率は14.7/10万人・年であり、すでに排菌陽性の肺結核を凌駕していることが判明した。また2012～2013年の大手検査センターにおける全抗酸菌検査データの解析による期間有病率は18.5/10万であった。原因菌としては*Mycobacterium avium* complex (MAC)が一番多く90%以上を占め、ついで*M. kansasii*、*M. abscessus* complexが数%ずつを占める。自覚症状の乏しい例も多く、経過も緩やかであるが、中には月の単位で進行し一命に関わる症例もある。しかし、有効な治療法がない上に、治療期間が年単位の長期に及ぶことや、治療開始の定まった基準もないこと、多剤併用するため副作用も少なくないこと、など治療開始の決断は難しい。一方、今のところ治癒の概念がないため、一旦診断されると生涯に渡り経過観察を行う必要がある。経過観察においては自覚症状、胸部画像検査、呼吸機能検査も重要であるが、臨床的には治療開始の判断や、治療効果の判定、再燃、再感染の評価には定期的な塗抹、培養検査は必須である。また病状を反映する菌量の指標として塗抹検査の意義を報告するものもある。しかし日常臨床では、肺NTM症の患者さんは咳や喀痰などの自覚症状の乏しいことも多く喀痰の採取は容易でないことも多いため、日常臨床では患者も医師も喀痰検査をためらう、あるいは行わないことも多い。しかし本疾患の病勢を正しく評価するためには定期的な塗抹、培養検査は必須であり、実は本疾患の経過観察はまさに臨床微生物検査室との長期に及ぶ共同作業である。進歩の著しい微生物検査の最新情報を共有しながら、検査室側からの喀痰検査の催促とともに、採痰指導や実際の検体採取まで微生物検査技師と協働できれば本疾患の診療の著しい質の向上を期待できる。そうなれば多数の本疾患例の診療に携わる医師としては大変心強い限りである。

第29回日本臨床微生物学会総会・学術集会 **企業展示会のご案内**

**会期** 2018年 2月9日(金) / 2月10日(土) / 2月11日(日)

**会場** 長良川国際会議場 1F 市民ギャラリー ブースNo.12

**出展予定品** 自動遺伝子検査装置 TRCReady-80